

平成 18 年度 第 2 回 芦屋市立公民館運営審議会 会議要旨

日時	平成 19 年 2 月 15 日（木） 14:00～15:30
場所	市民センター 203 室
出席者	委員長 樋口 茂 委員 岩井 晃治郎・河村 照子・阪口 雅三・藤田 まさ代 事務局 白川公民館長・中西館長補佐・永吉指導主事
会議の公表	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 部分公開 <非公開・部分公開とした場合の理由>
傍聴者数	0 人

1 議題

報告事項

- (1) 平成 18 年度 秋・冬の公民館講座の募集結果について
- (2) 平成 18 年度 兵庫県公民館大会について
- (3) 阪公審の役員会について 3 月 16 日、西宮市立中央公民館

協議事項

- (1) 平成 19 年度 芦屋川カレッジ、芦屋川セカンド・カレッジの実施について
- (2) 平成 19 年度 春の公民館講座等の実施について

2 審議内容

報告事項については、事務局作成の資料をもとに報告を行い、各委員からの質問を受けたり意見交換を行った。協議事項については、事務局作成の資料をもとに説明を行い、各委員に協議を頂き意見を受けた。

また、2 年間の任期最後の審議会のため、2 年間での委員活動で感じたこと、及び感想などを自由に発言していただいた。

〔主な内容等〕

報告事項について

議題（1）は平成 18 年度の秋・冬の公民館講座の募集結果について各委員に報告を行った。その後意見交換を行い、各委員から次のような意見が出た。

- ① 環境問題の講座は秋・冬とも応募者が少なく、講座が中止になった。「環境」というとどうしても難しいという印象を与えがちなため、たとえば芦屋の身近な内容を取り上げたり、双方向的な講座内容を企画するなど、受講者がより親しみを持ちやすくなる工夫をすればよいのではないか。同時にこれまでよりさらに広報活動の範囲を広げるとよいと思われる。
- ② セカンド・ライフをテーマにした講座は、今後ますます市民の方々のニーズが増えるはずのテーマであるが、今回の募集では応募者が少なかった。今後、さらに応募者が増えるような工夫

を加えてほしい。

議題（２）は２月１６日（金）西宮市立中央公民館で開催される兵庫県公民館大会の日程等について最終確認を行った。

議題（３）については、阪公審の役員会の日程について各委員に報告を行った。

役員会…３月１６日（金）西宮市立中央公民館で開催予定

協議事項について

議題（１）は、平成１９年度 芦屋川カレッジ、芦屋川セカンド・カレッジの案を各委員に報告し、協議を頂き意見を受けた。カレッジ、セカンド・カレッジとも、今後いわゆる団塊の世代の大量退職等を受けて、ますますニーズが高まってくると思われるので、より多くの申し込みに対する対策を公民館内で議論する必要性が今後出てくるであろうとの意見をいただいた。

今まであまり公民館に来られなかった方への周知方法も含めて、参加しない人にどうプッシュするか、また、受講を希望して、学習意欲のある人を抽選落ちで積み残さないようにする方策を考えてほしいとの意見をいただいた。

議題（２）については、平成１９年度の春の公民館講座の案を各委員に報告し、協議をいただき意見を受けた。各講座について従来の広報に加えて、たとえばホームページなどで各講座の活動中の様子の紹介をしたり、終了済の回のレジュメを掲載したりするような多角的な広報が今後の検討課題になるのではないかという意見をいただいた。

以上